

大学ポートレート運営会議（第20回）議事要旨

1. 日 時 令和6年2月14日（水） 14:00～15:30

開催方法 オンラインにより開催

2. 出席者

[委員] 相原委員、菊池委員、近藤委員、佐々木委員、島袋委員、鈴木委員、西原委員、
水戸委員、安井委員

[主査] 杉谷大学ポートレートステークホルダー・ボード主査

[オブザーバー] 中村高等教育局視学官

山田高等教育局大学教育・入試課課長補佐（以上、文部科学省）

[事務局] 蔵川大学ポートレートセンター長、吉田評価事業部長、

山内大学ポートレートセンター事務室長（以上、大学改革支援・学位授与機構）

小林私学経営情報センター長（日本私立学校振興・共済事業団）

3. 議 題

- (1) 大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について
- (2) 質保証システム部会「審議まとめ」への大学ポートレートの対応について
- (3) 大学ポートレートの現状について
- (4) その他

4. 配付資料

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| 資料1 | 大学ポートレート運営会議委員名簿 |
| 資料2 | 大学ポートレート運営会議（第19回）議事要旨（案） |
| 資料3 | 大学ポートレートステークホルダー・ボード委員名簿 |
| 資料4 | 令和5年度大学ポートレートステークホルダー・ボード 主な意見 |
| 資料5 | 質保証システム部会「審議まとめ」への大学ポートレートの対応について |
| 資料6 | これまでの大学ポートレートの改善状況について |
| 資料7 | 令和5年度大学ポートレート参加状況 |

- 資料8 大学ポートレート公表画面へのアクセス数について
- 参考資料1 大学ポートレート運営会議関係規則等
- 参考資料2 文部科学省 令和3年度大学改革状況調査 概要・調査結果
- 参考資料3 教学マネジメント指針

初めに、委員の交代があったことに伴い、新委員として島袋委員の紹介があった。

次に、大学ポートレート運営会議（第19回）の議事要旨の確認ののち、議題について協議が行われた。主な内容は次のとおり。

（1）大学ポートレートステークホルダー・ボードからの意見について

- ・山内事務室長より、資料3及び資料4に基づき、令和5年12月7日に開催された令和5年度大学ポートレートステークホルダー・ボードの概略について説明があった後、杉谷大学ポートレートステークホルダー・ボード主査より、資料4及に基づき、委員から出された意見について報告があった。
- ・議長より令和6年度の大学ポートレートステークホルダー・ボードの開催について提案があり、開催することが承認された。
- ・最後に、山内事務室長より大学ポートレートステークホルダー・ボード委員の改選について説明があった。

（2）質保証システム部会「審議まとめ」への大学ポートレートの対応について

- ・山内事務室長より、資料5に基づき、中央教育審議会大学分科会質保証システム部会「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について（審議まとめ）」（令和4年3月18日）の提言を受け検討を進めることとしていた「教学マネジメント指針」への大学ポートレートの対応について説明があり、原案のとおり承認された。

<主な意見>

【菊池委員】大卒の方向性に異論はないが、私立大学等の意見を取りまとめて進めていきたい。また、財源の問題も踏まえての対応となることを承知いただきたい。

【山田課長補佐】財源に限りがあるということではあるが、できる限り積極的に公表されるよう進めていただきたい。

【島袋委員】今回出された様々な課題について、検討する内容は次回会議までに事務局で精査するのか。

【山内事務室長】検討に必要な資料等があればご意見を承りたい。事務局でも次回に諮る資料を早めに準備していく。

【島袋委員】最終的に目指すものが明確でないと意見も言いづらい。

【鈴木議長】会議の課題を明確にするプロセスは重要である。事務局で次回の議論の計画を立ててもらいたい。

(3) 大学ポートレートの現状について

- ・山内事務室長より、資料6に基づき大学ポートレートにおける主な取組について説明があった。その後、資料7及び資料8に基づき大学ポートレート参加状況及びアクセス数について報告があった。

<主な意見>

【水戸委員】アクセス数について、令和3年度をピークに若干気になる減少が見られるが、要因としては何が考えられるか。

【山内事務室長】国公立版のアクセス数は堅調に推移しているが、私学版のアクセス数が減少しているようだ。

【小林私学経営情報センター長】令和3年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大学のオープンキャンパスが開催されないなどの事情があり、高校生や進路指導教員から多くのアクセスがあったのではないかと思う。現在はコロナ禍が収束し、アクセス数もある程度落ち着いたのではないかと推測している。大学ポートレートは多くの方に利用いただきたいものであるため、今後も利用促進に向け努力したい。

(4) その他

- ・特になし

以 上